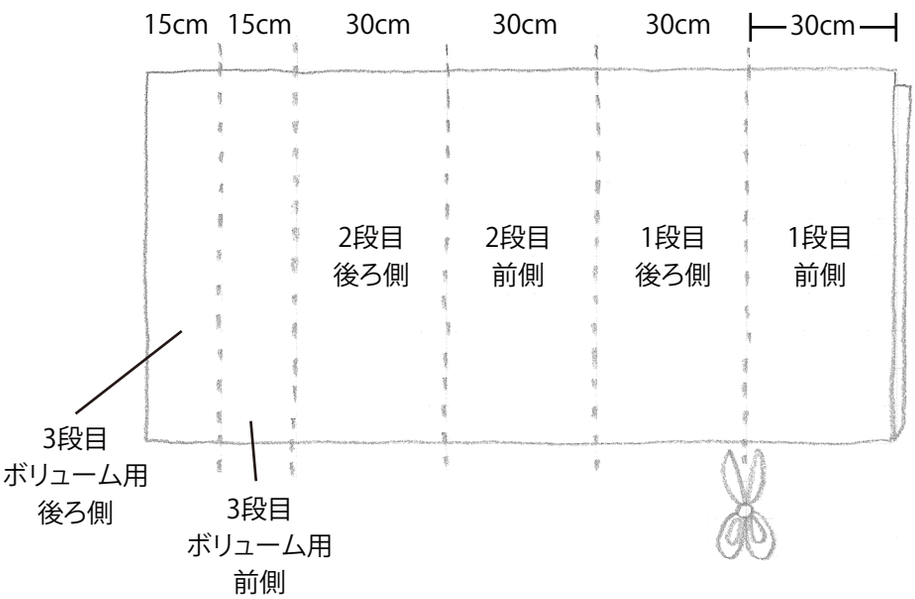
# チュールパニエの作り方

使用素材・用尺

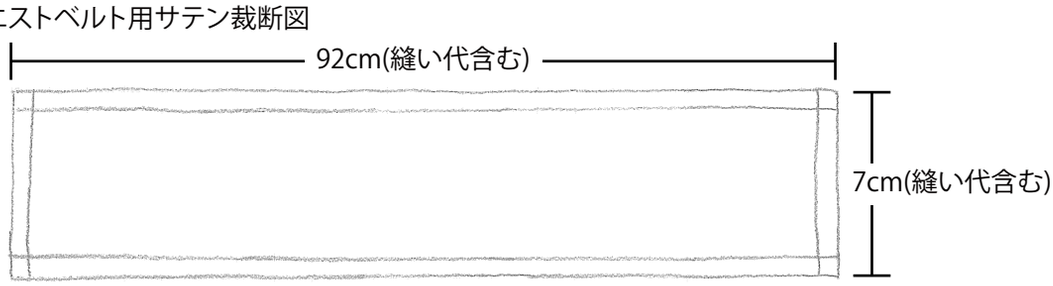
- 3035チュール…1.5m
- フジサテン…0.1m
- ナイロンシャー…0.3m
- 15mmインサイドベルト…0.3m

※チュール、サテン、ナイロンシャーの
縫い代はすべて1cmです。

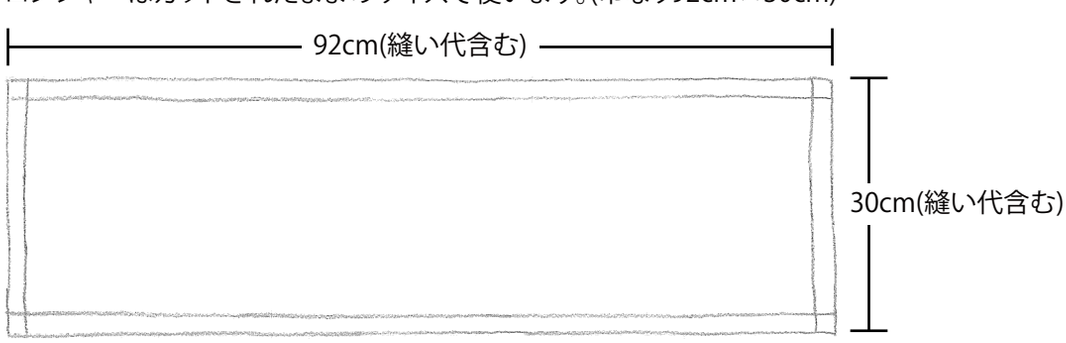
チュール裁断図



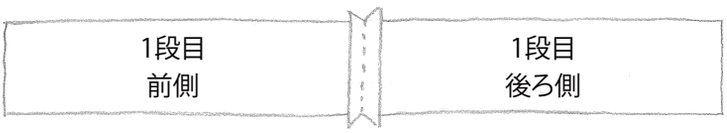

ウエストベルト用サテン裁断図



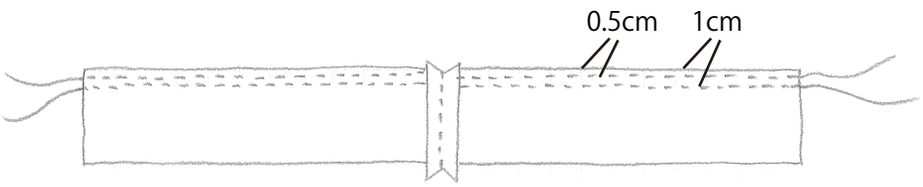

ナイロンシャーはカットされたままのサイズで使います。(巾なり92cm×30cm)



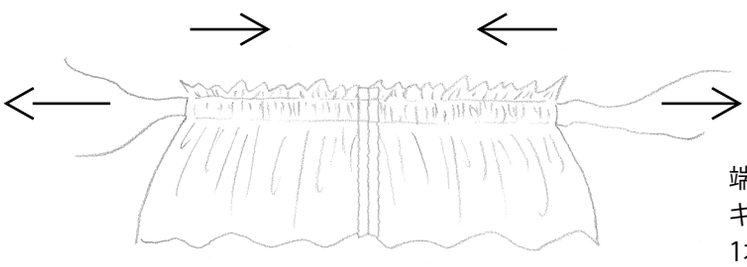
## 【1】チュールを縫います



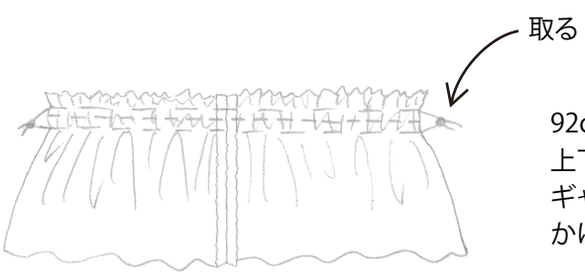

30cmのチュール2枚を縫い合わせ、
縫い代を割ります。



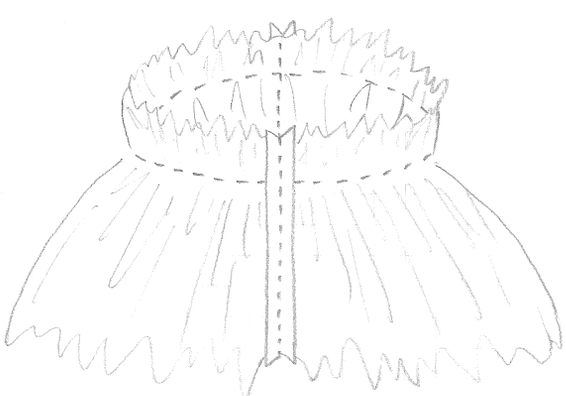

裁ち端から0.5cmと1cmのところに
ギャザーを寄せるための粗ミシンをかけます。



端から端の長さが92cm(縫い代を除くと90cm)になるように
ギャザーミシンの糸を上下2本同時に引っ張ります。
1本だと弱くて切れてしまうので、必ず2本同時に引っ張りましょう。



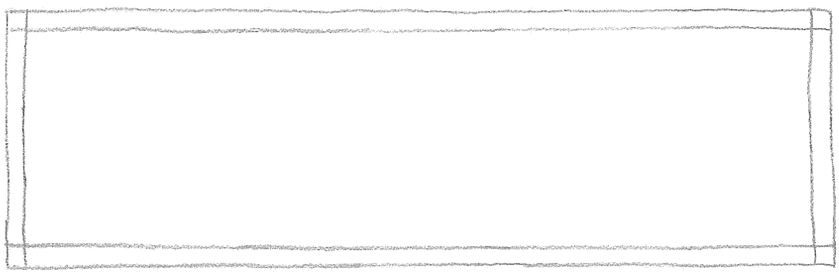

92cmになったら、寄せたギャザーが伸びないよう
上下2本の糸を固結びし、裁ち端から1.5cmのところに
ギャザーを固定するための押さえミシン(本縫い)をかけます。
かけ終わったらギャザーミシンをほどきます。

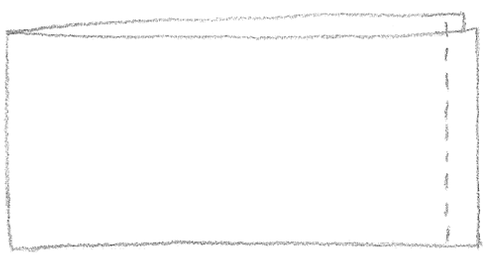


90cmの輪になるよう縫い合わせます。

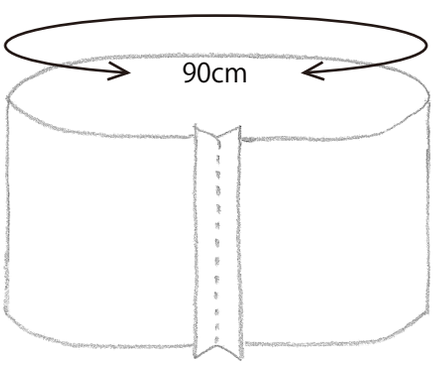
同じものをもう1枚と、15cm丈のものを1枚作ります。

## 【2】ナイロンシャーを縫います

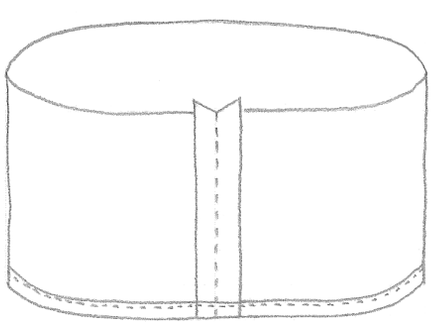


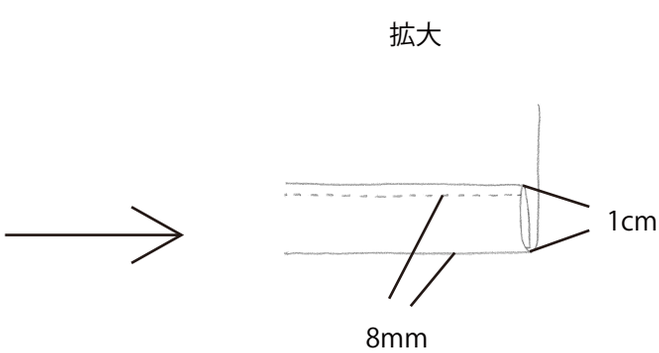


円周90cmの輪になるように縫い合わせます。



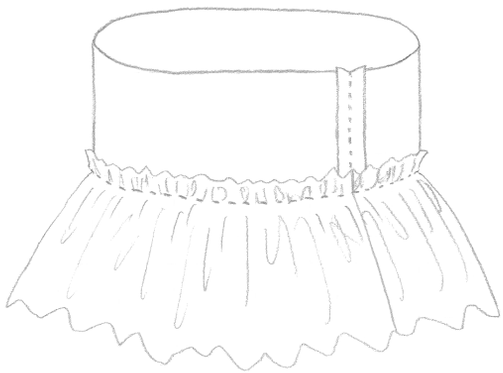

縫い代を割ります。



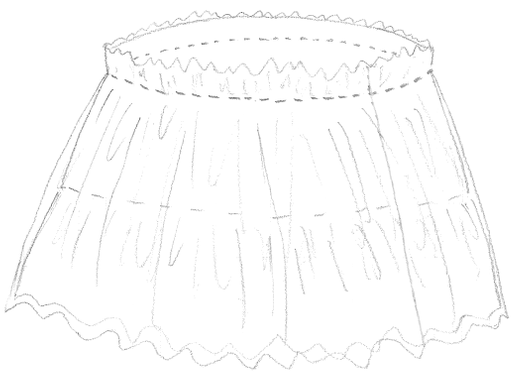



裁ち端に三つ折りミシンをかけて裾を上げます。
※縫い代が肌に当たらないように外側にします

## 【3】チュールをナイロンシャーに縫い付けます

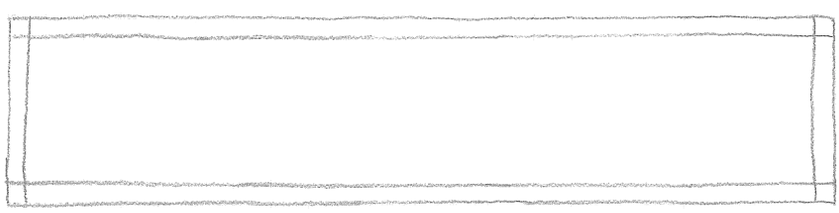


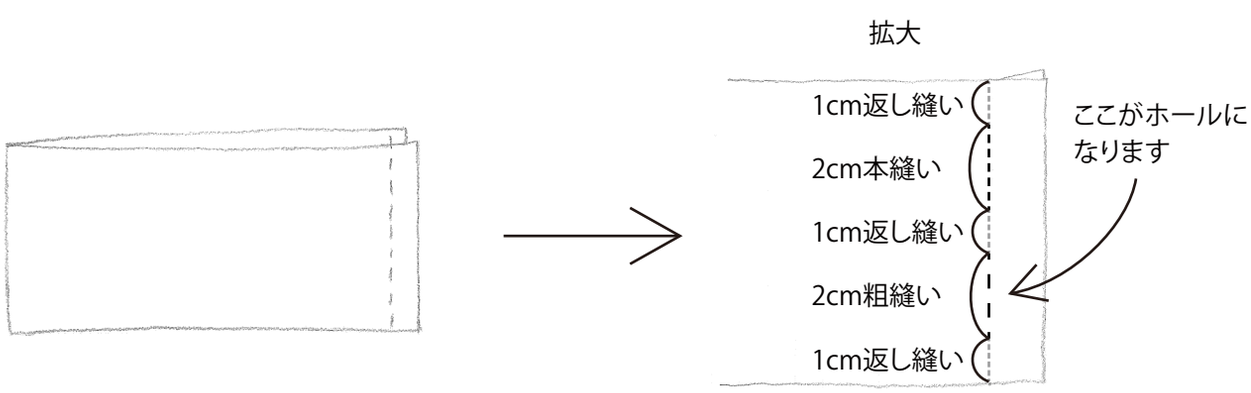
ナイロンシャーに15cm丈のボリューム用チュールを
縫い付けていきます。



30cm丈のチュール2枚をナイロンシャーに縫い付けていきます。
★で縫ったギャザー押さえミシンの真上から
同じところにミシンをかけます。
2枚縫い付けますが、ずれやすいので1枚ずつ縫っていきます。

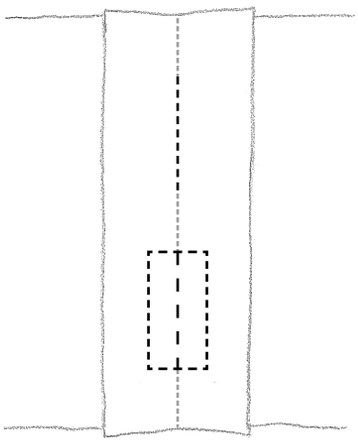
## 【4】ウエストベルトのゴム通し用のホールを作ります



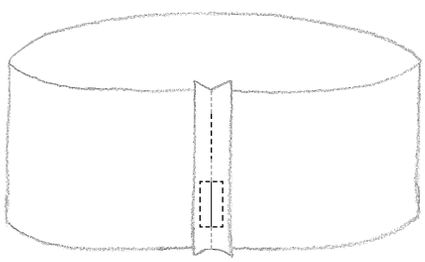



ホール部分2cmは粗ミシンをかけて仮縫いしておき、
ホールが出来たら最後に糸を外します。

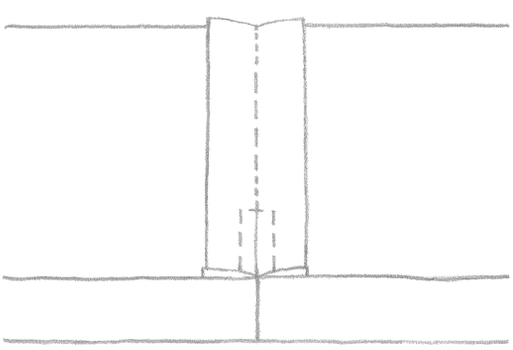
ミシン目を変えながら縫っていきます。



縫い代をアイロンで割り、
粗縫いした2cmの周りを四角く縫って補強します。

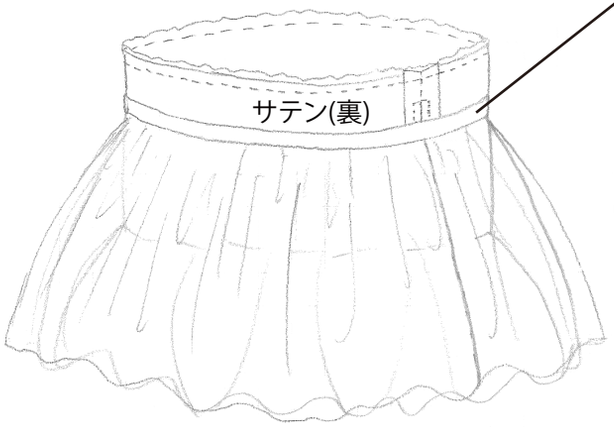


粗縫いの糸をほどいて、ゴム通し用ホールが完成。

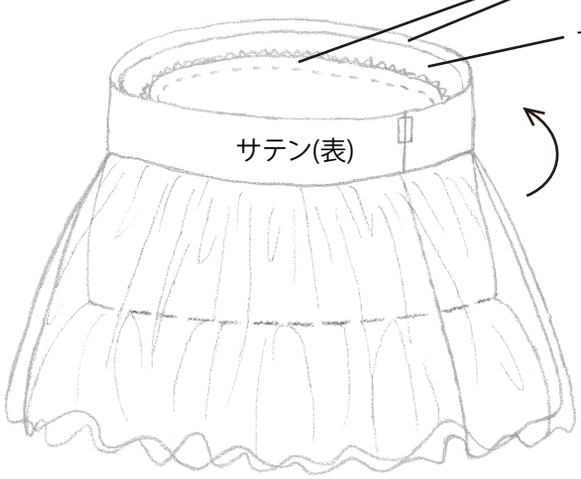


ゴム穴側の縫い代に
アイロンをかけて縫い代を上げておきます。

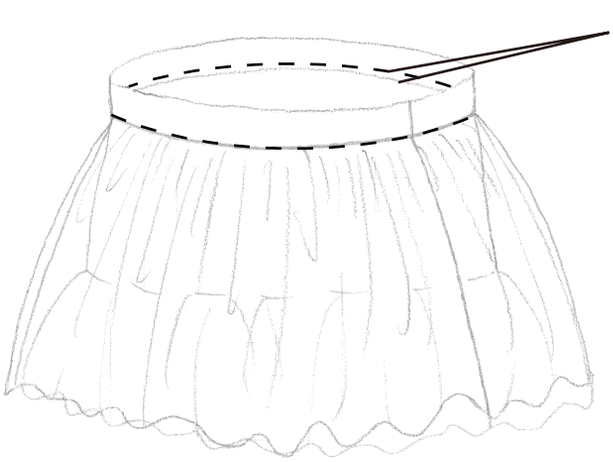
## 【5】ウエストベルトを本体に縫い付けます



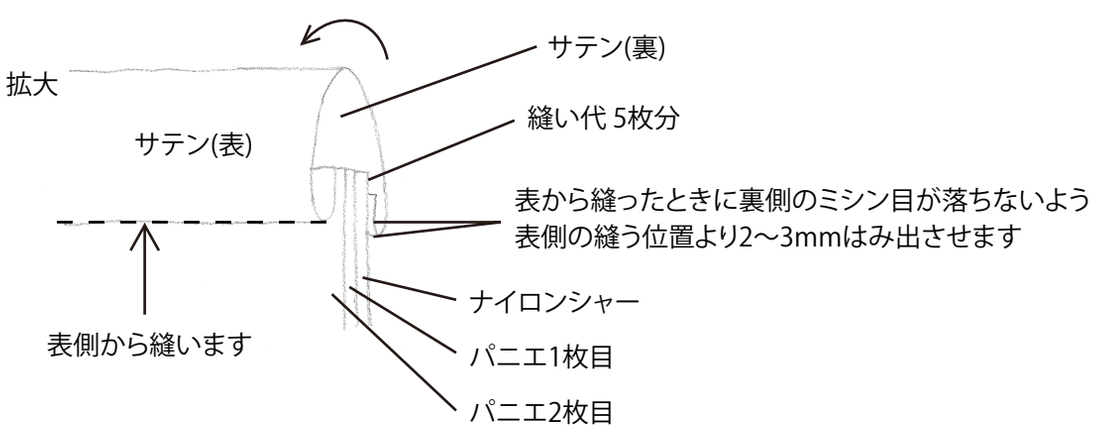

チュールパニエ本体の上に
ウエストベルト用サテンを重ねて縫っていきます。

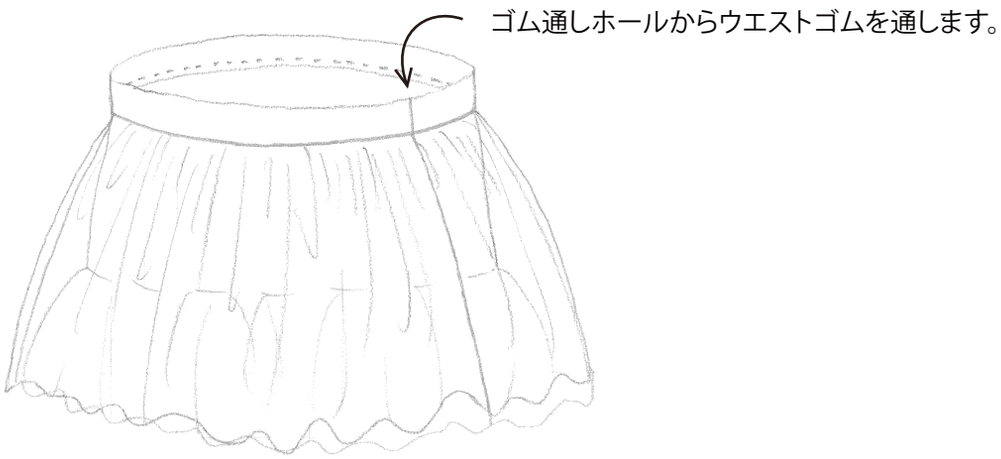


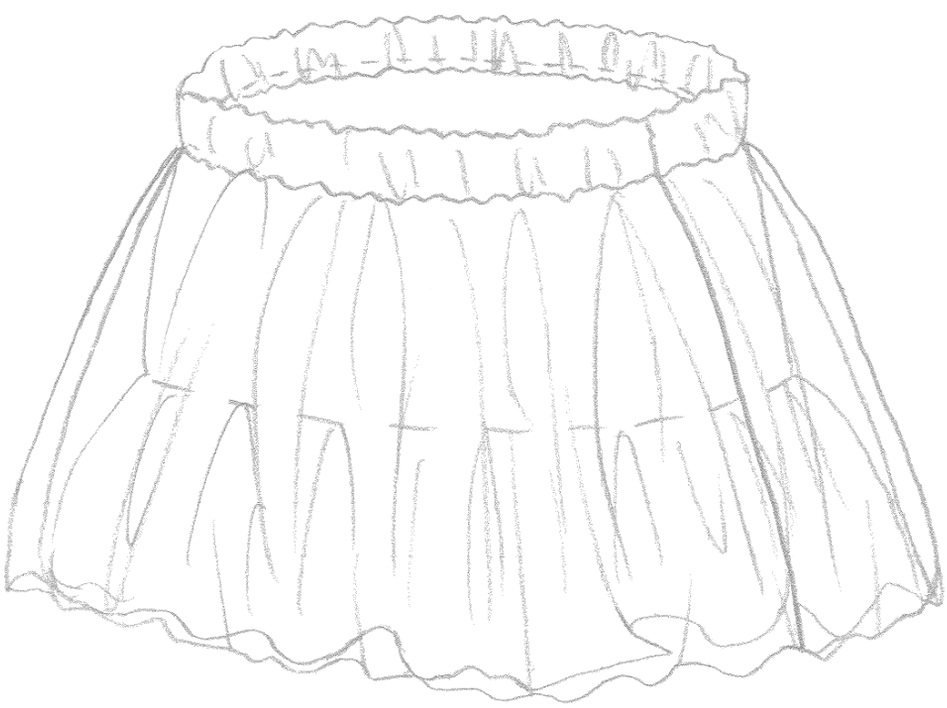

ウエストベルトを上に持ち上げ、
アイロンをかけて縫い代を割ります。




上でベルトと本体に縫い付けたミシン目と同じところを、
そのミシン目の上から縫っていきます。
同じところに2度ミシンがかかる状態です。





ゴムを結んでギャザーのバランスを整えれば完成!!